

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	河川と下水道の連携による浸水被害の最小化を目指したまちづくり（防災・安全）												
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	京都市												
計画の目標	一級河川（都市基盤河川）の流域において、局地的な集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う雨水流出量の増大に対し都市型水害のリスク軽減を図るため、河川の整備を進めるとともに下水道施設（雨水幹線）の整備を進め、河川と下水道の連携による安心安全な市民生活の確保を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,811	A	1,811	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H26当初)	(H28末)	(H30末)
1	新川において、下水道雨水幹線（新川6号幹線）合流点より下流（以下、6号幹線下流）の河川改修の完了 新川において、下水道雨水幹線（新川6号幹線）合流点より下流（以下、6号幹線下流）の河川改修実施率を算定する。 河川改修実施率（%）＝（6号幹線下流の改修実施延長（m））／（6号幹線下流の河川延長（m））×100	95%	100%	100%
2	浸水対策実施率（下水）を0%から100%に増加させる。 浸水対策実施率（下水）を算定する。 浸水対策実施率（下水）（%）＝（下水10年確率降雨対応対策実施済み面積（ha））／（計画対象排水区面積（ha））（S=32ha）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																		
下水道事業	A07-002	下水道	一般	京都市	直接	京都市			管渠 (新設 雨水)	浸水対策	新川6号幹線 (Φ2,200mm, L=1,185m)	京都市	■	■	■	■	■	1,354		—
												小計						1,354		
												合計						1,354		

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	C07-001	下水道	一般	京都市	直接	京都市	—	改築	浸水対策	新川第6排水区 水路整備	京都市					■	0	—		
		基幹事業（1-A1-2）と一体的に行うことで、当該地域の浸水リスクを低減し、安全安心な暮らしを実現する。																		
											小計						0			
											合計						0			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

京都市において、目標の達成状況と指標の達成状況を確認

事後評価の実施時期

令和元年度

公表の方法

市公式ホームページでの公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・河川改修実施率を高めた結果、治水安全度の向上に寄与し、溢水被害のリスクが軽減した。
- ・下水道施設（雨水幹線）の浸水対策実施率を高めた結果、内水被害リスクが軽減した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

現在、新川6号幹線については供用開始済み。一級河川新川においては、新川6号幹線の合流点より上流側に対して、引き続き河川改修を推進し、さらなる安心安全な市民生活の確保を図っていく。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	(6号幹線下流の改修実施延長(m)) / (6号幹線下流の河川延長(m)) × 100	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	(下水10年確率降雨対応対策実施済み面積(ha)) / (計画対象排水区面積(ha)) (S=32ha)	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

参考図面（防災・安全交付金）

計画の名称	1 河川と下水道の連携による浸水被害の最小化を目指したまちづくり（防災・安全）		
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度（5年間）	交付対象	京都市

